



## ◆◆◆ 分散登校がはじまりました ◆◆◆



先週から2つのグループに分かれての分散登校がはじまりました。12日(火)には1・3・5年生、14日(木)には2・4・6年生が担任の先生や同じクラスの友たちと顔を合わせ、教室は明るい雰囲気になりました。健康状態を確認した後、今までの課題を提出。入学したばかりの1年生は、宿題の出し方やロッカーの使い方を教わったり、学校探検をしたり。夏野菜の苗を植えたり、ハウセンカやヘチマの種を播いたりする学年もありました。「先生や友だちに会えて楽しかったし、うれしかった」と喜ぶ声が聞こえてくるようでした。子どもたちの笑顔を見ていると、やはり学校は子どもたちが主役なんだということを改めて感じました。可能な限りの感染症対策をとりながら教育活動再開へ向けて準備をしていきたいと思えます。

## 新型コロナウイルス感染症の予防

子どもたちが新型コロナウイルス感染症の予防について正しく理解し、適切な行動がとれるようにと、橋本養護教諭が小学生向けに作成された資料を使って全クラスで指導をしました。咳やくしゃみでウイルスが感染する仕組みや、コロナウイルスの予防ためには石けんによる手洗いとマスクの着用が重要になりますが、なぜそれが必要なのかも分かりやすく伝えました。福井県では緊急事態宣言は解除されましたが、再び感染が流行しないように気を緩めず、自分と自分の大切な人を守るために、また安心して過ごせることを願って、感染しないさせない生活様式を守っていききたいものです。



今回使用した『コロナウイルスをやっつける』の作品の終わりに、作者からのメッセージが書かれていましたのでご紹介します。「いまこの地球上の 誰もが 大人も子供も、どの地域の人も、どの職業の人も、どの人種の人も コロナウイルスと戦っています。子どもたちも小さな立派な戦士です。小さなコロナファイターと、大きなコロナファイターと みんなで頑張っていきましょう! 1日も早くコロナウイルスが収束しますように・・・ 今日どこかで頑張ってる貴方へ 心から感謝の気持ちを込めてありがとうございます。」

1～3年生の資料 『コロナウイルスをやっつける』(小児科医 工藤紀子作)

4～6年生 // 『コロナウイルスってなんだろう?』(藤田医科大学病院感染症科作)



児童が下校した後、教室内やトイレの中、スクールバスの座席などの消毒作業をしています!